

# JICグループの投資活動について (2020年度)

1. JICの概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 3
2. JICによる投資の状況（全体像）	・ ・ ・ ・ ・ P. 17
3. 民間GP運営ファンドへのLP投資の状況	・ ・ ・ ・ ・ P. 22
4. JIC VGIによる投資活動の状況	・ ・ ・ ・ ・ P. 27
5. JIC PEによる投資活動の状況	・ ・ ・ ・ ・ P. 49

# 1. JICの概要

# 1. (1) JICの概要・投資戦略

社名	株式会社産業革新投資機構 (Japan Investment Corporation : JIC)
設立	2018年9月
資本金 (資本準備金含む)	3,804億9,996万7,724円 (2021年1月現在) (うち政府出資3,669億9,996万7,724円、企業出資135億円 (25社) )
所在地	東京都港区虎ノ門1-3-1
根拠法	産業競争力強化法 (平成25年法律第98号)
取締役	代表取締役社長CEO 横尾 敬介 取締役CIO 久村 俊幸 取締役CSO 福本 拓也 取締役CFO 大内 聡 社外取締役 榊原 定征 (取締役会議長) 社外取締役 岡 俊子 社外取締役 小笠原 範之 社外取締役 忽那 憲治 社外取締役 幸田 博人
監査役	監査役 江戸川 泰路 監査役 末岡 晶子
産業革新投資委員会	榊原 定征 (委員長) 岡 俊子 小笠原 範之 忽那 憲治 幸田 博人 横尾 敬介

世界的なDXの潮流\*

国内外の社会課題の解決

## 日本経済の持続的な発展に向けて 日本の産業競争力を強化

産業・経済の新陳代謝が必要  
新たな成長企業の創出や大胆な事業再編

国内の課題

我が国のリスクマネー供給は他国と比較して圧倒的に不足

JICの役割

リスクマネーの好循環を生み出す資金と人材を確保

\* DX : Digital Transformation 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること  
(出典：経済産業省デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン（DX推進ガイドライン）ver.1.0（2018年12月））

**当社は、オープンイノベーションによる企業の成長と  
競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、  
投資人材の育成等を行い、  
我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環を創出します。**

## (1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネーの供給



## (2) 我が国のリスクマネーの好循環創出に向けた基盤づくり





- JICおよび認可ファンドの役職員は、高度な倫理観を持って以下の行動規範を遵守し、高いパフォーマンスを発揮することに努めます。
- JICは、共同でゼネラルパートナーを務める投資家に対しても、以下の行動規範を最大限尊重し、行動することを求めます。

誠実さと規律ある行動

Integrity & Discipline

卓越した専門家としての矜持

Excellence & Professionalism

責務の遂行と結果に対する説明責任

Accountability & Responsibility

相互の信頼とチームワークに基づく  
成果の最大化

Respect & Teamwork

- JICは、産業競争力強化法に基づく「投資基準」（経済産業省告示第百九十四号）に沿って投資を実行する。
- 投資基準に掲げられた以下の4つの重点投資分野にリスクマネーを供給していくため、ファンドの組成を通じて我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化と投資エコシステムの拡大に貢献する。

## 重点投資分野

Society  
5.0

### Society5.0に向けた 新規事業の創造の推進

事業者にとって不確実性が高い非連続的な成長が必要であり、長期かつ大規模なリスクマネー供給を必要とする新規事業の創造に係る事業分野を支援



### ユニコーンベンチャー の創出

グローバルな経済圏において競争力をもって持続的に成長することを目標とするユニコーンベンチャーを創出



### 地方に眠る 将来性ある技術の活用

高い収益が期待できる技術力が多数あるにもかかわらず十分に活用されていない地方の大学発ベンチャー等の資金需要に対応

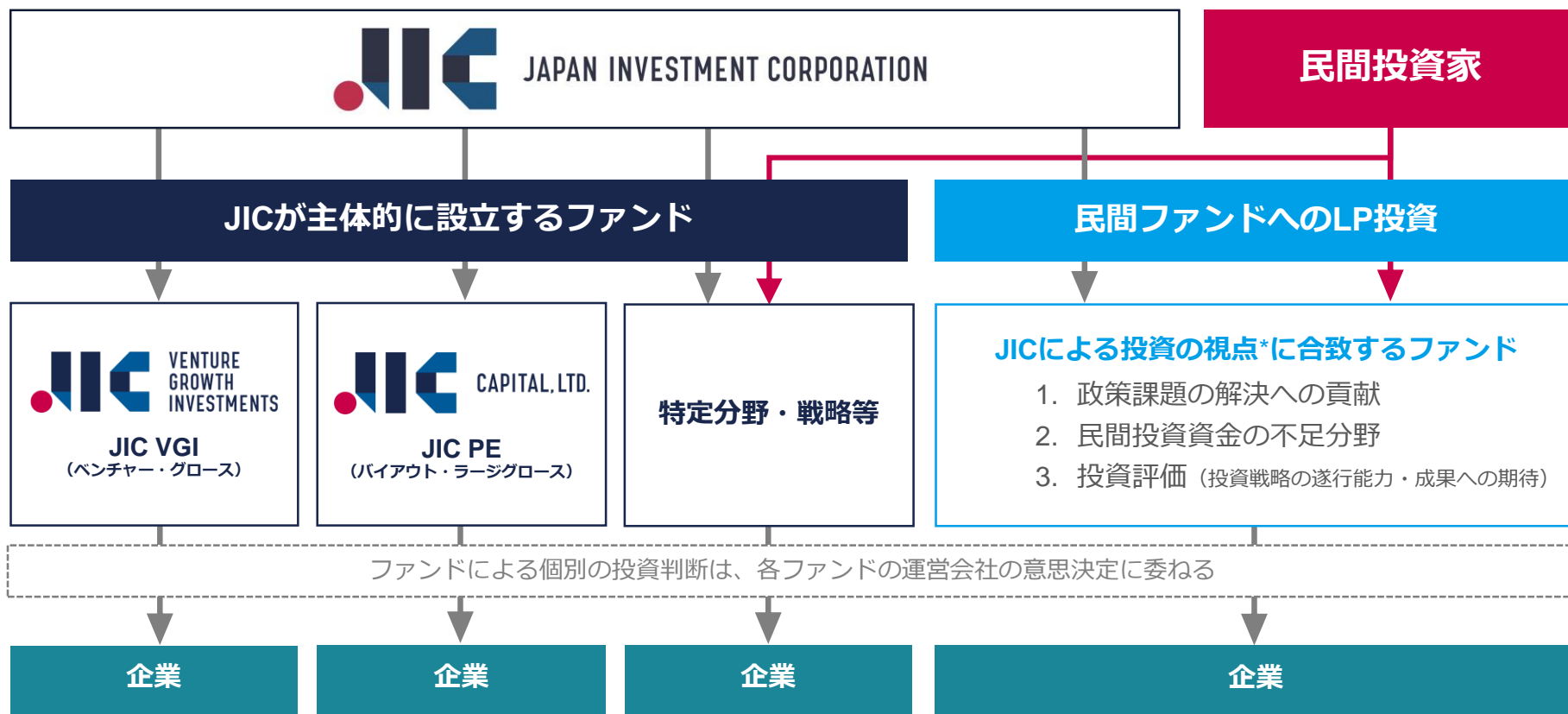


### 産業や組織の枠を 超えた事業再編の促進

国際競争力を持ちうる事業分野において、オープンイノベーションに向けた大胆な事業再編を通じて産業競争力の強化を支援

我が国におけるオープンイノベーションを推進し、  
我が国産業の競争力強化に貢献

- JICの経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンド投資を通じて企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給を行う。
- 投資戦略として（１）JICが主体的に設立するファンドへの投資と（２）民間ファンドへのLP投資を実施。



\*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点から総合的に勘案する。

# 1. (2) リスクマネー好循環創出に向けた基盤づくり

## 我が国のリスクマネーの好循環創出に向けた基盤づくり

- JICは、我が国のリスクマネー供給を質量ともに充実させ、次世代産業を支えるリスクマネーの好循環を創出するため、以下のような役割を果たすことを目指す。
  1. 民間投資の「呼び水」としての役割
  2. 投資知識の「プラットフォーム」としての役割
  3. 投資人材等を「育成」する役割



- ◇ JICとして**投資知識のプラットフォーム**としての役割を果たしていくことを目指す。
  - 投資対象や投資戦略の異なる多様なファンド創出を促し、投資に関心のある企業および人材に**多様性のある投資機会を提供**。
  - JICが投資したファンドとともに、投資分野および手法に関する経験・知見を蓄積し、また投資家、企業団体、学術研究機関等とのネットワークを構築し、**組織横断的な人材と情報の流通を促進**。
  - 経済産業省はじめ諸省庁や公的機関との対話を行い、政策目標の設定ならびに投資成果の評価を実施。また、調査・分析機能を強化し、ファンド投資に役立てるとともに、投資の過程で得られた知見や政策ニーズをフィードバック。これらにより、**政策と投資の好循環を創出**。

- ◇ JICとして我が国のリスクマネー供給を担う**投資人材等の育成**に貢献していくことを目指します。
  
- JICが主体的に設立するファンドの投資チームが、投資により社会的課題の解決を図りながら、民間資金を受託する能力を高め、**今後の我が国のリスクマネー供給を担う人材としての成長を支援**。
  
- JICがLP出資する民間ファンドに対しては、**投資家（LP）としてフィードバック**を行い、財務リターンを追求しながら、産業競争力の強化にも貢献できる**民間投資チームの成長プロセスを後押し**。
  
- 民間ファンドや関連団体等とも連携し、投資実行や価値創造のスキルとともに、ファンドの投資戦略立案、管理および評価等の**様々なスキルをもつプロフェッショナルの育成をサポート**。

◇ 今後、JICとして、投資先ファンドとともに民間事業者や関係団体、政府等とも連携して、リスクマネー供給の好循環創出の基盤づくりに取り組んでいく。

1. ファンド運用者と機関投資家のリンケージ強化のための活動
2. ファンド運用者が抱える共通の課題に関する勉強会やネットワーク等
3. 調査・ナレッジマネジメント機能
  - リスクマネーの好循環に資する情報・知識の分析、発信
  - 産業の競争力強化や関連施策に関する調査機能の強化
  - 海外市場やVC・PE投資の動向に関する情報収集・意見交換 等
4. VC、PE投資におけるESG・SDGsに関する情報収集・意見交換
5. GP・LP投資人材の育成
  - 機関投資家、民間事業者等との人事交流
  - 研修等の実施 等



## 2. JICによる投資の状況（全体像）

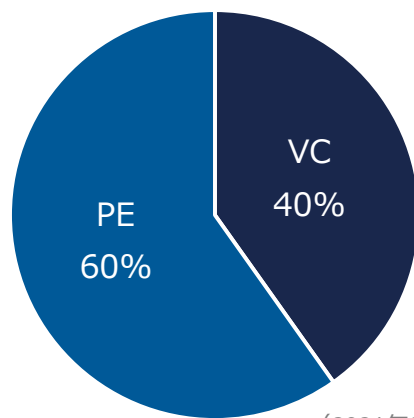
## 【ファンド投資の概況】

(2021年3月末時点)

	投資決定件数	出資約束額	払込済金額	進捗率
合計	6	3,343億円	279億円	8.4%
うちJIC子会社がGPとして運営するファンド	2	3,200億円	255億円	8.0%
うち民間GPが運営するファンド	4	143億円	25億円	17.1%

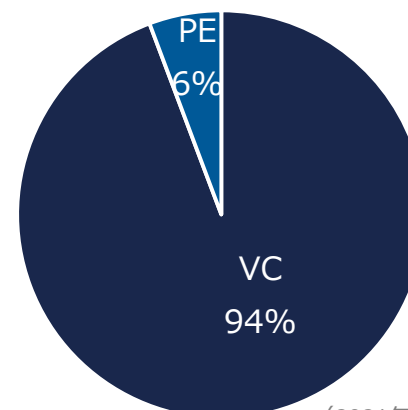
(注) 払込済金額には追加出資手数料等を含む

### 出資約束額



(2021年3月末時点)

### 払込済金額



(2021年3月末時点)

公表日	ファンド名	JIC投資額 (コミットメント額)	ファンド概要
2020年7月8日	JICベンチャー・グロース・ファンド1号 投資事業有限責任組合	1,200億円	ベンチャー・グロース領域に十分なリスクマネーを供給し、呼び水効果、業界連携、オープンイノベーション促進による日本の国際競争力向上、産業及び社会の課題解決を企図
2020年9月9日	JIC PEファンド1号 投資事業有限責任組合	2,000億円	大規模・長期・中立的なリスクマネー供給を通じて、Society 5.0の実現に向けた新規事業・新産業の創造、国内産業の国際競争力強化、業界の再編を企図
	JIC PE共同投資ファンド1号 投資事業有限責任組合	2,000億円	国際競争力強化に向けた大規模な事業再編に際して、JICとの共同投資を実施
2020年12月8日	Beyond Next Ventures2号 投資事業有限責任組合	40億円	医療・ヘルスケア分野をはじめ大学・研究機関・企業の有する優れた技術シーズの事業化に注力。産学連携による技術系スタートアップへのインキュベーション投資を実施
2021年2月26日	Catalys Pacific Fund, LP	30百万米ドル	国内製薬会社や大学等から化合物を導入し、グローバルでの開発を実施。創薬ベンチャーとの協業によるオープンイノベーション創出についての知見共有や人材育成により創薬エコシステム醸成に寄与

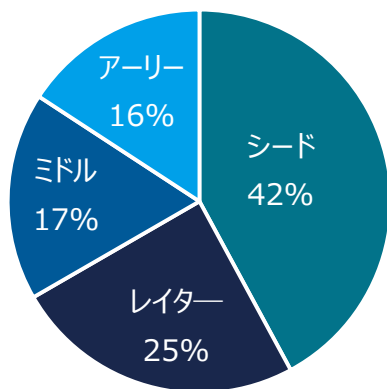
公表日	ファンド名	JIC投資額 (コミットメント額)	ファンド概要
2021年4月19日	ANRI 4号投資事業有限責任組合	29.5億円	ディープテック領域およびインターネットとディープテックの融合領域にリスクマネーを供給。研究開発型ベンチャーに対する人材面での支援を行うほか、女性キャピタリストや女性起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図
2021年4月30日	みやこ京大イノベーション2号投資事業有限責任組合	41億円	アカデミア発ディープテックベンチャーにリスクマネーを供給。Society5.0の実現に向けた高度な専門技術の開発や社会実装を支援。各地の大学との連携により、地方に眠る将来性ある技術の活用と技術系スタートアップのエコシステム醸成にも貢献

(2021年3月末時点)	投資件数	投資額
全投資先ファンド	57	186億円
うちJIC VGF1	17	170億円
うち民間ファンド	40	16億円

## ステージ別

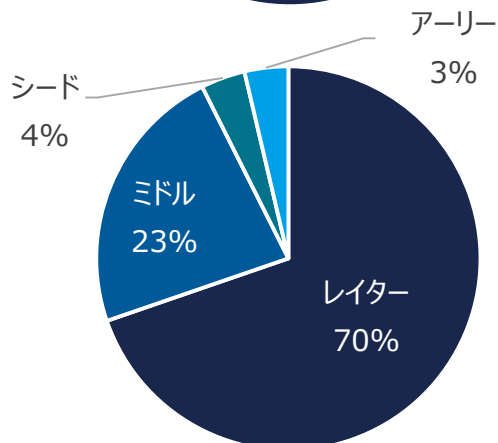
### 投資件数

(2021年3月末時点)

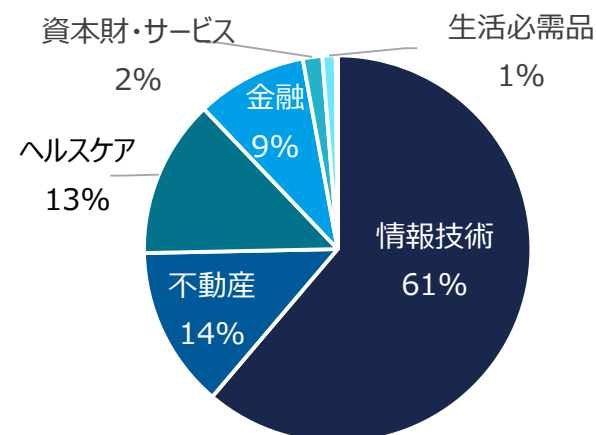
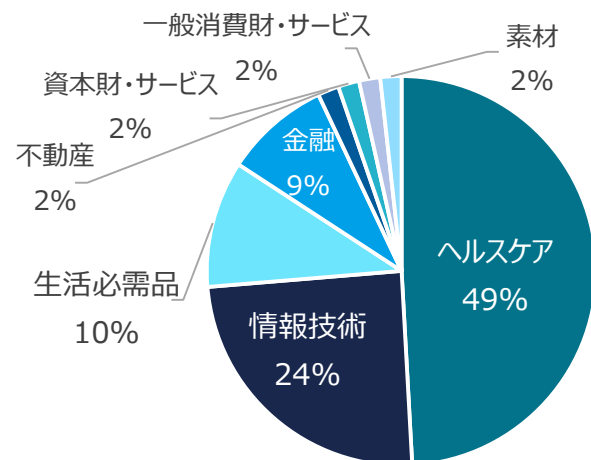


### 投資額

(2021年3月末時点)



## 業種別



### 3. 民間GP運営ファンドへのLP投資の状況

## Beyond Next Ventures 2号投資事業有限責任組合



投資決定公表日	2020年12月8日
JIC投資額 (コミットメント額)	40億円
ファンド総額	165億円
主な共同出資者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社</li> <li>・ 第一生命保険株式会社</li> <li>・ みずほ証券株式会社</li> <li>・ 株式会社三井住友銀行</li> <li>・ 株式会社三菱UFJ銀行</li> <li>・ 独立行政法人中小企業基盤整備機構</li> </ul>
主な投資対象・投資戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な投資対象：バイオ、ライフサイエンス、ヘルスケア、AI、IT、ロボット等の大学発ベンチャー、技術系ベンチャー及びカーブアウトベンチャー</li> <li>・ 医療・ヘルスケア分野をはじめ大学・研究機関・企業の有する優れた技術シーズの事業化に注力</li> <li>・ 地方の大学とも連携を強化し、地方に眠る技術シーズの掘り起こしを企図</li> </ul>
JICによるLP投資の目的 (投資基準への適合性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方における技術系スタートアップに対するリスクマネーの供給を補完</li> <li>・ 民間資金の呼び水として産学連携を通じたエコシステム醸成に貢献</li> <li>・ 投資チームが将来、機関投資家等からの資金受託を拡大できるようJICによる支援を実施</li> </ul>

## Catalys Pacific Fund, LP CATALYS PACIFIC

<b>投資決定公表日</b>	2021年2月26日
<b>JIC投資額</b> (コミットメント額)	30百万米ドル
<b>ファンド総額</b>	非公表
<b>主な共同出資者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エーザイ株式会社</li> <li>・ ソフトバンクグループ株式会社</li> <li>・ 武田薬品工業株式会社</li> <li>・ 中外製薬株式会社</li> <li>・ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</li> </ul>
<b>主な投資対象・投資戦略</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な投資対象：創薬シーズおよび創薬ベンチャーのシード/アーリーステージ</li> <li>・ 国内製薬会社や大学等において有望だが研究開発費の制限等により開発が進められずに眠っている化合物を導入し、臨床開発計画を自ら策定してグローバルでの開発を実施</li> </ul>
<b>JICによるLP投資の目的</b> (投資基準への適合性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内製薬会社に対してオープンイノベーション創出の仕組みを提供し、創薬ベンチャーを活用した開発モデルを取り入れる契機とすることで、国内製薬業界の構造的な課題解決に貢献</li> <li>・ 創薬ベンチャーとの協業によるオープンイノベーション創出についての知見共有や人材育成により創薬エコシステム醸成に寄与</li> <li>・ 投資チームが将来、機関投資家等からの資金受託を拡大できるようJICによる支援を実施</li> </ul>



## ANRI 4号投資事業有限責任組合



投資決定公表日	2021年4月19日
JIC投資額 (コミットメント額)	29.5億円
ファンド総額	250億円
主な共同出資者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アサヒグループホールディングス株式会社</li> <li>・ グリー株式会社</li> <li>・ 第一生命保険株式会社</li> <li>・ 株式会社ミクシィ</li> <li>・ 株式会社みずほ銀行</li> </ul>
主な投資対象・投資戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な投資対象：ディープテック領域およびインターネットとディープテックの融合領域</li> <li>・ 革新的な研究・技術の事業化を実現するために、起業家の経営者としての資質を見極めるとともに、投資後にも適切な企業傾斜の招聘を行うなど、研究開発型ベンチャーに対して人材面でも支援</li> <li>・ 投資額の2割を女性起業家発ビジネスに割り当てる等、女性起業家の数が圧倒的に少ない等の国内ベンチャーエコシステムにおけるダイバーシティの課題にも取り組み</li> </ul>
JICによるLP投資の目的 (投資基準への適合性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディープテック領域及びインターネットとディープテックの融合領域へのリスクマネー供給の促進及び新産業・新規事業の創出</li> <li>・ 国内ベンチャーエコシステムにおけるダイバーシティの推進への貢献</li> <li>・ 投資チームが将来、機関投資家等からの資金受託を拡大できるようJICによる支援を実施</li> </ul>

## みやこ京大イノベーション2号投資事業有限責任組合

MIYAKO  
CAPITAL

投資決定公表日	2021年5月7日
JIC投資額 (コミットメント額)	41億円
ファンド総額	142.1億円
主な共同出資者	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽石油株式会社</li> <li>第一生命保険株式会社</li> <li>みずほ証券株式会社</li> <li>株式会社三菱UFJ銀行</li> <li>独立行政法人中小企業基盤整備機構</li> </ul>
主な投資対象・投資戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な投資対象：アカデミア発ディープテックVB（ベンチャービジネス）</li> <li>京都大学より認定を受けた民間ファンドとしてアカデミア発ディープテックVBに対して重点的に投資</li> <li>京都大学を中心に首都圏以外の大学等との連携を強化し、地方に眠る技術シーズを積極的に掘り起こし</li> <li>グローバルな投資・成長支援の経験を豊富に持つメンバーを擁し、投資先 VB の海外展開の積極的な支援を可能とする体制を整備</li> </ul>
JICによるLP投資の目的 (投資基準への適合性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アカデミア発ディープテック VB に対するリスクマネー供給の促進</li> <li>地方における技術系スタートアップのエコシステム醸成への貢献</li> <li>投資チームが将来、機関投資家等からの資金受託を拡大できるようJICによる支援を実施</li> </ul>

## 4. JIC VGIによる投資活動の状況

# (1) JIC VGI概要①

投資決定公表日	2020年7月8日
ファンド	・ JIC ベンチャー・グロース・ファンド 1 号投資事業有限責任組合 (VGF1)
無限責任組合員 (GP)	・ JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 (VGI)
有限責任組合員 (LP)	・ 株式会社産業革新投資機構 (JIC) ・ VGF1 役職員投資事業有限責任組合 (VGF1 役職員組合)
主な投資対象・投資戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本の新産業創出に向けて、ベンチャー・グロース投資領域においてリスクマネーが不足している産業分野を見極め、投資領域を設定</li><li>・ 投資基準に基づき「産業競争力の強化又は社会課題の解決」「成長性」「革新性」の観点から投資を検討</li><li>・ 主な投資領域としては、以下に掲げる産業分野での投資に重点的に取り組む<ol style="list-style-type: none"><li>1. 情報通信</li><li>2. 金融 (フィンテック、セキュリティ技術等含む)</li><li>3. 運輸・小売</li><li>4. 製造業</li><li>5. サービス業</li><li>6. 教育・医療・福祉サービス業 (介護、保育等を含む)</li><li>7. ヘルスケア (ICT ヘルスケア (ハード/ソフト含む)、検査機器等を含む)</li><li>8. 健康医療 (創薬・医療機器等を含む)</li><li>9. 教育 (保育/EdTech 等含む)</li><li>10. 建設・ユーティリティ</li><li>11. 素材化学</li><li>12. 一次産業 (農業、食品等含む)</li><li>13. 新産業 (宇宙、量子、ディープテック等含む)</li><li>14. その他、日本の産業競争力強化に資する領域</li><li>15. その他、日本の社会課題解決に資する領域</li></ol></li></ul>
JIC投資額 (コミットメント額)	1,200億円
期間	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運営期間： 12年</li><li>・ 投資期間： 5年 + 延長2年(LP同意の場合)</li><li>・ 運営期間延長： 1年(LP同意の場合、設立後～最大2033年12月迄)</li></ul>

## 政策目標

(1) 投資によって達成を目指す政策目標

- ① Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進
- ② ユニコーンベンチャーの創出
- ③ 地方に眠る将来性ある技術の活用

(2) エコシステムに対する貢献

- 新たな技術や事業が産業及び社会へ実装されるよう、一社や既存産業の枠組みを超えたイノベーションの成果が波及することを通じてイノベーションを創出の好循環を目指す
- 大企業、民間VC、大学及び研究機関等の関係各所と積極的に連携し、人材の流動化・イノベーションエコシステムの構築を目指す
- 多様な投資人材を発掘・育成し、厚みと多様性あるエコシステムの構築に寄与する

## 収益目標

- VGF1の収益目標は、ネットIRR10%程度、ネットMoC1.5程度を目指す
- VGF1は、我が国の産業政策に沿った新産業創出と収益目標を両立させるために長期投資を行う
- 産業育成のミッションを完遂するため、民間ではリスクを取り切れない産業領域についても投資を行うため、民間ファンドと同様なリスク・リターンの評価手法は念頭に置きながらも、VGF1のパフォーマンス評価は前述の通り政策の実現性と収益の実現で評価する

## ガバナンス

- 投資委員会：JICが毎回オブザーバー参加し、ファンドの投資基準との整合性を確認
  - 投資ガイドライン：LPコミット総額の10%以上となる投資等は、LPの承認が必要
  - レポーティング：四半期毎に財務諸表、投資先企業概況等をJICに報告
  - 報酬設計：JIC VGIの報酬は、基本給（年俸）及び年度賞与で構成されており、当該合算額が、株式会社産業革新投資機構の業務執行取締役の報酬総額（年額報酬及び特別手当の合算額）の上限を超えない範囲で設計されている
- ※その他、ファンドの収益に連動した長期業績連動報酬制度を設けており、ファンド全体で投資元本（運営コストを含む）を上回る回収益が発生した場合に限り、回収益の2%の範囲内で、JIC VGIの役職員が自己投資をした場合に限り、其々の自己投資額に応じた報酬を支給することとしている

(2020年度の取締役及び監査役の報酬等の額)

区分	支給人数	報酬等の額	摘要
取締役	4人*	72,640千円*	
監査役	1人	5,250千円	
計	5人	77,890千円	

\*JIC取締役と兼職する取締役2名については、JICからの2020年度の報酬等の額を計上

## 管理報酬

- VGIの各年度の予算に基づき、LPの承認（出資額による過半数）により決定

# (2) 投資の状況 (VGF1運用報告) ①

①



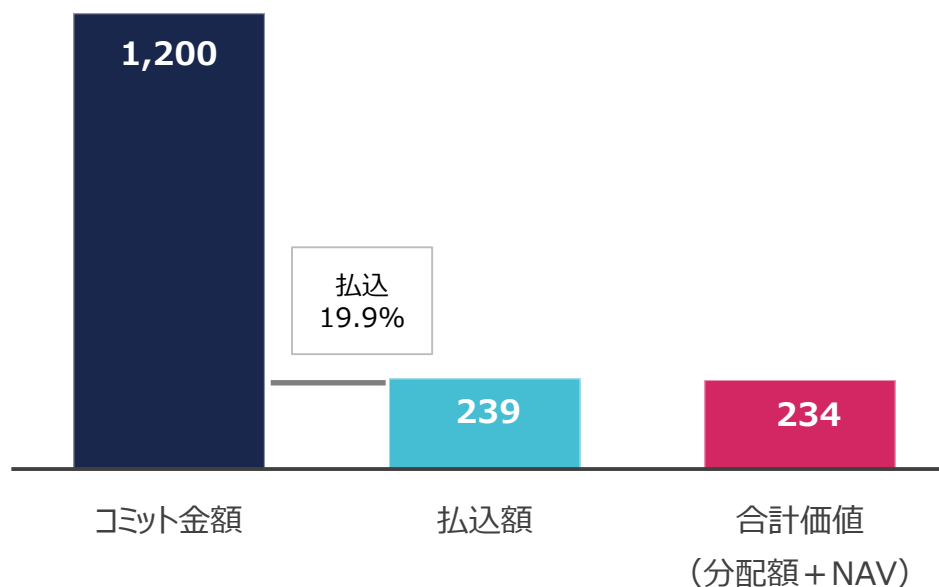
株式会社産業革新投資機構

## (1) ファンドの状況

コミット日	2020/9/18	コミット金額	1,200億円				
							(単位: 億円)
基準日	未使用コミット金額	払込額	分配額	NAV	累計損益	IRR	TVPI
2021/3/31	961.2	238.8	0.0	234.2	▲ 4.6	NM*	0.98

\* 始まって間もないファンドであり時期尚早

### 払込・分配・NAV等の状況 (2021年3月末時点) (億円)



# (2) 投資の状況 (VGF1運用報告) ②



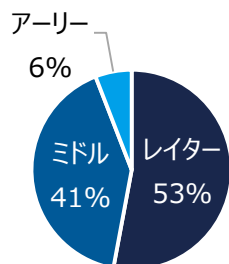
## (2) 個別投資案件の状況

(単位：億円)

基準日	投資件数	投資額	回収額	NAV	損益	IRR	倍率
2021/3/31	17	169.8	0.0	170.0	0.2	NM*	1.00

\* 始まって間もないファンドであり時期尚早

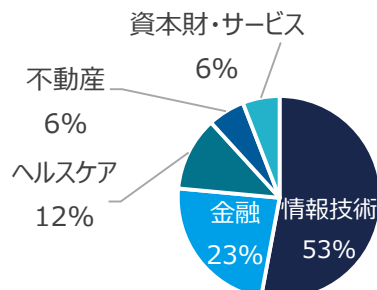
### ステージ別



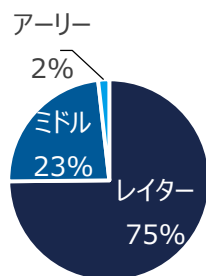
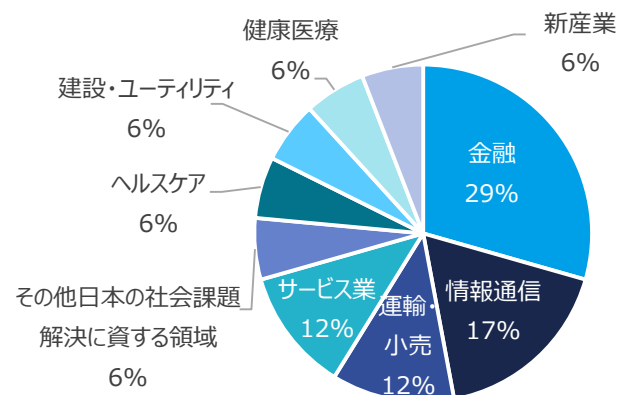
### 投資件数

(2021年3月末時点)

### 業種別

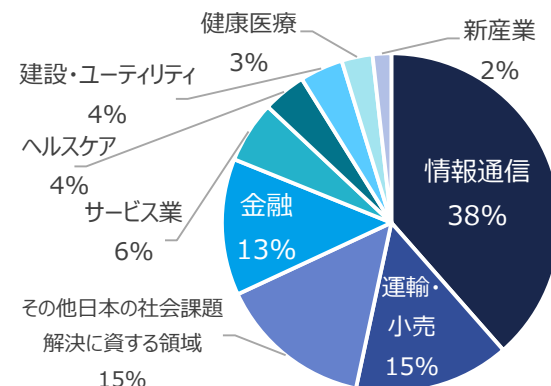
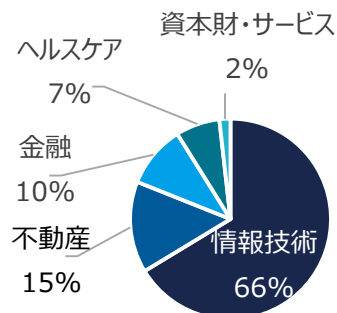


### 産業区分別\*



### 評価額 (NAV)

(2021年3月末時点)





投資先	案件公表日	投資額
株式会社iCARE	2020年12月8日	7億円
アソビュー株式会社	2020年12月8日	5億円
株式会社ウフル	2020年12月8日	20億円
株式会社Quemix	2020年12月8日	3億円
ココン株式会社	2020年12月8日	15.3億円
株式会社モンスター・ラボ	2020年12月8日	30億円
株式会社クラッソーネ	2020年12月14日	7億円
ナイル株式会社	2021年1月18日	20.1億円
ICHX TECH Pte. Ltd.	2021年1月21日	USD5m
クレストホールディングス株式会社	2021年3月8日	5億円
クオリプス株式会社	2021年3月16日	5億円
WealthPark株式会社	2021年3月22日	25億円
READYFOR株式会社	2021年3月29日	1.5億円
株式会社MFS	2021年3月31日	5億円
TORANOTEC株式会社	2021年3月31日	5億円

## 株式会社iCARE iCARE

投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>• 企業が行う健康管理業務を効率化し、従業員の健康から発生する労務リスクを見える化する健康管理システム「Carely」の開発及び販売</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>• SFV・GB投資事業有限責任組合</li><li>• SMBCベンチャーキャピタル</li><li>• Salesforce Ventures</li><li>• 三井住友海上キャピタル</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 複雑かつ煩雑な業務だがコストセンターのため業務効率改善及びDX化が進まない健康管理(ストレスチェック、健康診断、過重労働管理など)を一気通貫且つシンプルに行えるSaaS「Carely」を開発提供することで、健康管理のDX化、業務負荷軽減、関連法令の遵守も実現

### 成長性

- 「Carely」に蓄積した健康関連データを活用し、健康管理に関する組織課題を可視化し適切な介入を行うことにより、「働くひと、だけではなく、組織そのものの健康創り」を行い、結果、日本企業の生産性向上及び競争力強化を実現

### 革新性

- 企業における従業員の健康管理のDX化に寄与
- 当社は「働き方改革」等、企業における従業員の健康管理への意識が高まる以前から当該領域でのDX化を推進しており、業務に精通しているため、すべてをシステム化で対応するのではなく、マニュアル対応も組みあわせ、一気通貫で課題に適応した健康管理サービスを提供
- 法令遵守のための受け身の健康管理ではなく、企業価値向上に向けた組織力強化のための健康管理へと、企業における従業員の健康管理の位置づけを転換させる可能性

## アソビュー株式会社 asoview!

投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>「ワクワクをすべての人に」をミッションとし、休日の便利でお得な遊びの予約サイト「アソビュー！」の運営</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>Z Venture Capital</li><li>地域創生ソリューション</li><li>南都銀行</li><li>新生企業投資</li><li>きらぼしキャピタル</li><li>三生キャピタル</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- これまでICTの恩恵が行き渡りづらかった観光・サービス領域におけるDXの促進
- 「アソビュー！」は都市圏・地方問わず豊富なコンテンツを提供しており、「アソビュー！」の成長を通じ、地方への人口動線の拡大を促すことで地方創生に貢献

### 成長性

- コロナ禍の影響を受ける観光・サービス産業においてもアソビューは事業を拡大
- 当社が事業拡大を更に加速させることで、観光・サービス産業への呼び水効果と産業DX・三密回避・地方創生の新たな価値の創出へも貢献

### 革新性

- 「アソビュー！」を通じ、様々な体験サービスやアクティビティ施設への予約が可
- そのため、三密を回避した新たな体験サービス・アクティビティサービスの在り方や提供方法（ニューノーマル）を創造

株式会社ウフル



投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>自社のIoTソリューションの「enebular (エネブラー)」と「Loocus (ルーカス)」を活用した企業や社会のDXとデータ活用の支援</li><li>スマートシティやスマートサプライチェーン等に必要とされるセキュアなデータ流通基盤の構築</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>非公表</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 自社のIoTソリューションを活用した製造業・インフラ等をはじめとする様々な業界におけるコア業務のDXへの寄与
- 地方都市等におけるスマートシティの実現に向けたコンサルティング及びソリューションの開発・提供
- スマートシティにおけるシステムの標準化 (“都市OS”の開発)

## 成長性

- 今回の出資で、IoT関連の技術の研究開発、国際標準化等を行い、その結果、日本発のIoTデバイスの海外展開を推進
- これまでに多数のクラウドおよびIoTプロジェクトの実績を上げたのに加え、国内外の大手企業等と業務連携を実現

## 革新性

- 日本の高信頼かつ高品質のセンサー技術とウフルのIoT技術の掛け合わせにより、日本発のIoTサービスを世界に展開

株式会社Quemix



投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>量子コンピューティング関連の計算技術開発、情報提供、演算サービスの提供</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>非公表</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 量子コンピューティングの社会実装に向けた産学連携で研究開発を推進
- ゲート方式、アニーリング方式問わず、材料開発、創薬、小売・物流、エンターテインメント等の領域において様々な企業や研究機関等と研究開発を進め、社会課題の解決へ寄与

## 成長性

- 主要な研究機関・大学等との協力体制及び共同開発の実績を有する
- 親会社である株式会社テラスカイ（クラウドコンピューティングのリーディングカンパニー）からのICTに関わる事業及び経営に関わる知見の提供

## 革新性

- Quemixの量子コンピューティング事業の拡大を図ることで、国内でも量子コンピューティング領域における起業・投資等の拡大を促進

## ココン株式会社



投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>サイバーセキュリティ・人工知能・暗号等に関する各種サービスの展開および研究開発</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>Z Venture Capital株式会社</li><li>三菱UFJキャピタル株式会社</li><li>東京理科大イノベーション・キャピタル株式会社</li><li>株式会社ディープコア</li><li>千葉道場株式会社</li><li>大分ベンチャーキャピタル株式会社</li></ul>

<b>産業競争力の強化又は社会課題の解決</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>様々な業界でDXが進む中でサイバー空間への依拠が増加し、サイバーセキュリティ確保はIT業界のみならずインフラ・製造業・金融業などあらゆる業界の重要な産業課題となるなか、本件投資は当該課題の解決に寄与</li><li>欧米と比較し国内のサイバーセキュリティへの投資や人材育成の取り組みが遅れている中で、本件投資は国内のサイバーセキュリティ業界の育成・発展に寄与</li></ul>
<b>成長性</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>本件投資をもとにセキュリティ関連事業の更なるスケールアップ（M&amp;Aを含む）を企図</li><li>今回ラウンドで民間事業者と協調して計19.5億円を調達、創業時からの累計調達額は60億円</li><li>今回ラウンドで調達した資金をもとに更なる事業の拡大及び上場準備を進める予定</li></ul>
<b>革新性</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>高度な技術力を持つホワイトハッカーの集積により、国内サイバーセキュリティ産業の変革を促進</li><li>IoT化やコネクテッドカー、5Gの進展など通信環境の発展に伴う様々な業界での産業変革をセキュリティの確保によって側面支援</li></ul>

## 株式会社モンスター・ラボ Monstarlab ::

投資決定公表日	2020年12月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>顧客のビジネス、および業務オペレーションをデジタル化するコンサルティングサービス (デジタル戦略からデザイン、開発、改善運用含む)、プロダクト (RPA ツール、店舗向けオーダーシステム等) を提供</li></ul>
共同投資家 (公開情報のみ)	<ul style="list-style-type: none"><li>日本郵政キャピタル株式会社</li><li>電通デジタル投資事業有限責任組合</li><li>株式会社サーバーワークス</li><li>株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ</li><li>島根中央信用金庫</li><li>スカイライト コンサルティング株式会社 等</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 本件投資意義は、産業分野の各企業の稼ぐ力の向上に貢献する点にある。既存産業がDXを伴った新規事業開発による価値創造が求められている中で、当社は、顧客タッチポイントでのオペレーションをデジタル化するプロダクトを継続して開発、サービス提供を実施
- 各産業分野の顧客のデジタルを加速、各業界で産業×DXの取り組みを支援して、生産性向上の社会課題解決、産業分野の各企業の稼ぐ力の向上に貢献していくことを企図

### 成長性

- 今回の投資により事業のスケール化を企図。DXを担う日本発グローバルユニコーンを創出

### 革新性

- 世界16カ国27都市の海外リソースを活用した最適なチーム編成、オフショアチームを活用したグローバルでのアジャイル開発を行うことで顧客企業のDX化を支援し、その結果として各企業のビジネスモデルの組替、変革が加速
- グローバルソーシングを活用した海外リソースとの連携により、産業構造変革を生み出す可能性

## 株式会社クラッソーネ



CRASSONE

投資決定公表日	2020年12月14日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>解体工事領域で施主と工事会社を直接つなぐマッチングプラットフォームとして、解体業界のDXを推進する、一括見積もり Web サービス「くらっソーね」を展開</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>Bonds Investment Group 株式会社</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 総住宅数は増える一方、人口減少により、空き家が増加し空き家率は13.6%と過去最大の数値。最大の問題は管理されずに放置された住まいであり、社会課題として空き家対策が求められている
- 本サービスは国土交通省の住宅宅地分科会でも取りあげられており、空き家問題の解決に貢献可能

### 成長性

- マッチングサイトから解体工事業のPFとなるためのニューマネーを投下。既存投資家からも社会課題解決とストレッチするための大型資金を期待
- 次ラウンドでマス広告投資により一気にグロースさせる予定であり、グロースの前の先行投資と位置づけ

### 革新性

- 当社パートナー(解体工事業者等)がFAX・電話等で対応している業務をDX化し、産業プロセスの効率へ寄与
- その結果、当社パートナーは当サービスを利用することで売上アップ、解体工事数の増加に専念可能
- 次なるサービスで廃棄物処理業者の可視化など、業務効率化と公正な取引を推進



## ナイル株式会社

投資決定公表日	2021年1月18日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタルマーケティングに関する各種技術とノウハウを蓄積し、法人向けマーケティング支援領域、アプリ領域で事業を展開</li><li>新たな事業領域としてモビリティ領域に着目し、車の定額制利用サービスを提供</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>DIMENSION投資事業有限責任組合</li><li>SBI Ventures Two株式会社</li><li>株式会社博報堂DYメディアパートナーズ</li><li>デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社</li><li>NVCC9号投資事業有限責任組合</li><li>EEI4号イノベーション&amp;インパクト投資事業有限責任組合</li><li>グリーベンチャーズ1号投資事業有限責任組合</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 日本の人口減少にともない自動車販売台数の成長が踊り場となり、ディーラーや整備工場等の地域産業の衰退が懸念
- 当社が提供する車の定額制利用サービスは、マイカー利用の裾野を拡大するとともに、自動車関連事業者とのアライアンスを形成することにより、ディーラーや整備工場等の既存事業者を取り巻く地域産業エコシステムの発展に寄与

### 成長性

- 提携企業の既存アセットを活用して、当社独自のオンラインサービスを開発。車の定額制利用サービスを提供することにより、新たな事業ドメインを拡充し、さらなる成長を企図

### 革新性

- 自動車業界の外殻からDXに取り組む3rd Partyプレイヤーとして、自動車販売領域でのデジタル化、データ活用を加速
- 今後、当社が取得したデータ活用により、自動車会社及び関連事業者とのさらなる連携促進が期待され、販売領域のみならず、バリューチェーンを包含した自動車業界全体のDX促進に貢献

ICHX TECH Pte. Ltd. 

投資決定公表日	2021年1月21日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>シンガポールのセキュリティ・トークン取引所である ADDX を運営</li><li>※セキュリティ・トークン (ST) とは、ブロックチェーン技術等により主に株式、債券、不動産などを裏付け資産としてデジタル化した証券</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>東海東京グローバル・インベストメンツ</li><li>モバイル・インターネットキャピタル株式会社</li><li>株式会社日本政策投資銀行</li><li>株式会社十六銀行</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 海外で先行してるSTOについて、国内で展開する際のノウハウを逆輸入することで、海外に後れをとらないようにする産業育成観点の投資
- 他国においては中央政府、地方政府、中央銀行、証券取引所も巻き込んでの一大プロジェクトになっており、国内では民間主導になっているため、官民ファンドとして補完する役割
- 国内では法整備や日本のセキュリティトークン産業育成には時間がかかるため、海外での成功事例に東海東京FHと投資することで国内産業の立ち上げを早める狙い

## 成長性

- 本件は東海東京FHとの共同投資という位置づけであり、今後STOの投資家や発行体集めに先駆けてSTO市場の創生を官民ファンドや日系共同投資家と共に支援するという新たな枠組み

## 革新性

- 最先端のテクノロジー、運営体制、レギュレーション対応等様々な知見やノウハウ、実績、プレイヤーとのリレーション等を獲得し、他証券会社との連携の上他取引所の設立に向け、ADDXの知見を国内に呼び込み早期の立ち上げを図る
- SGX、Temasek、韓国のHanwha、タイのPhatraそして日本というアジア圏の有力な金融プレイヤーが一同に会した枠組みであり画期的な取り組み

## クレストホールディングス株式会社



投資決定公表日	2021年3月8日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>リアル店舗向けサイン &amp; ディスプレイの制作施工及びAIによる動線解析ツール、建設用木材の卸売販売事業、小売事業向けデザイン事業</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>みずほキャピタル株式会社</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 70歳以上の経営者が増加する中、半数以上が後継者が決まらず、その内61.4%の中小企業が黒字であるにも関わらず休廃業や解散に追い込まれており、2025年ごろまでの10年間の累計で約650万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる可能性に対応
- 当社は事業承継問題に直面していた木材卸売会社をグループの傘下にするなど、既存事業・産業のDX化と新たなイノベーション事業を生み出すモデルの代表企業として成長することにより、事業承継問題に対する一つの解決策とすることを企図

### 成長性

- 本件投資により、DX経営管理の強化を通じてM&A後の属人化からの脱却、新たなイノベーション事業の推進によりテック企業とは異なる実利のあるユースケースを創出

### 革新性

- 中小企業の上場の場合、レガシー産業として見られ、テクノロジーによる革新性が少なく成長も限定的と評価される傾向
- 本件はレガシー産業のDX化と自ら生み出すイノベーション事業という二軸でこれまでの中小企業とは異なる生まれ変わりを示すモデルケースであり、事業承継で悩む中小企業のM&Aや中小企業自身のDX化の加速を狙った新しい投資

クオリップス株式会社



投資決定公表日	2021年3月16日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>同種iPS細胞由来心筋細胞シート及び再生医療等製品の開発</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>ジャフコグループ株式会社</li><li>日本ベンチャーキャピタル株式会社</li><li>富士フイルム株式会社</li><li>セルソース株式会社 他</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 同社が開発を進める心筋細胞シートは重症心不全に適応したものであり、新たな選択肢として再生医療による治療法が望まれている領域
- 高齢化に伴い罹患患者が増加する傾向にあり、iPS細胞由来の心筋細胞シートの実現により健康長寿社会の実現に寄与
- 再生医療は高額な製造コストや腫瘍化リスク等開発上の課題があり、同社の取組が成功することで本邦の産業競争力強化に寄与

## 成長性

- 同社では、大阪大学が医師主導治験を進める心筋細胞シートの製造・開発を実施しており、本投資により同領域の研究開発の加速が期待
- 複数の事業会社とのアライアンスにより、再生医療の事業領域拡大も期待

## 革新性

- 大阪大学医学部澤芳樹教授が開発した心筋細胞シートは、従来の再生医療等製品に比べ、安定して高い有効性ととも、低侵襲性、待機期間が短いといった臨床上的利点が存在
- 同社が保有するCLiC-1(ラボ一体型の商業用細胞製造加工施設)では、生産プロセス開発から心筋細胞シートの製造・品質管理まで一貫して提供可能

WealthPark株式会社



投資決定公表日	2021年3月22日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>不動産管理会社向けに、業務効率化・管理支援ツールの開発及び販売</li><li>不動産管理会社向け小口化事業のDXプラットフォーム「WealthParkオルタナティブ」の提供</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>非公表</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- デジタル化が遅れる不動産業界のDX化に寄与するサービスを提供。不動産会社自身の生産性向上に加え、顧客である外部の不動産投資家とのやり取りを含めデジタル化することで、不動産ビジネスの透明性を合わせて向上
- 今後、小口のオルタナティブ資産運用サービスへ参入することで、個人資産の運用領域が不動産、オルタナティブ資産への拡大が見込まれ、個人投資家の老後資産形成の多様化が期待

## 成長性

- 本投資により、当社プラットフォームが持つ潜在的な事業機会を顕在化する新事業立ち上げが可能
- 金融・不動産で連携する事業者からの出資可能性も期待
- プラットフォームに流入する不動産会社、個人投資家は順調に増加

## 革新性

- 当社が目指す個人向けのオルタナ投資のプラットフォームは稀有の存在であり、資産運用サービスについては商品開発から事業を開始するのではなく、先に投資家を抱えてから事業化を進めており、世界的にも希少例
- 海外展開可能な人材を有し、既に海外での事業化を進展するなど、世界で通用する日本初の資産運用プラットフォームとなる可能性

## READYFOR株式会社



投資決定公表日	2021年3月29日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>主にNPOや医療機関、研究分野等、寄付性の高い領域に対する資金調達手段を提供するクラウドファンディング事業を展開</li></ul>
共同投資家 (シリーズB)	<ul style="list-style-type: none"><li>GLOBIS CAPITAL PARTNERS</li><li>Salesforce Ventures</li><li>MUFG Innovation Partners</li><li>あおぞら HYBRID1号</li><li>ナント CVC2号投資事業有限責任組合</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 本件の投資意義は、当社の事業を成長させ、規模拡大に寄与するとともに、寄付市場のDXを推進
- この結果、寄付をより容易にする環境を作り、基金事業やクラウドファンディング事業の拡大成長、寄付文化の発展などの社会課題の解決を企図

### 成長性

- ソーシャル領域（芸術文化、教育、福祉・健康分野）において、事業のスケール化を企図
- 今回の資金調達でさらなる成長を企図

### 革新性

- 当社が提供するサービスは、ソーシャルファンディング領域の生産性向上や寄付文化の発展など我が国の資金流通における新たなエコシステムの構築に貢献
- 女性起業家の成功事例創出を支援し、起業しやすい環境の醸成、ひいては産業構造変革のきっかけを創り出すことを企図

## 株式会社MFS



投資決定公表日	2021年3月31日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>オンライン上でユーザー属性に応じた最適な住宅ローンを比較・紹介する住宅ローンサービスである「モゲチェック」の運営等</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>新生企業投資株式会社</li><li>中銀リース株式会社（中国銀行グループ）</li><li>株式会社ディープコア</li><li>日本ベンチャーキャピタル株式会社</li><li>伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社</li><li>あおぞら企業投資株式会社</li></ul>

### 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- 個人にとって最大の負債といえる住宅ローンは、住宅売買取引の当事者である不動産業者が借入相談・斡旋を行うことが通例であり、かつ、金融機関による審査過程がブラックボックスであるため、個人が自己に最適なローン条件を知ることは困難
- 当社が運営する「モゲチェック」は、顧客目線で最適な住宅ローン条件を顧客に無償で提供するサービスであり、顧客は能動的に最適な選択をし、結果として資産形成・管理に役立てることが可能

### 成長性

- 「モゲチェック」が一層普及することにより、住宅ローン業界における情報の非対称性が是正されるとともに、有利な条件での借入を実体験することで、顧客が主体的に資産形成・管理に取り組む契機となることも期待

### 革新性

- 金利条件を単純に比較するのみならず、顧客の属性情報、個人信用情報も加味してのAIを利用した精度の高い与信判断を行ったうえ、審査承認確率を含めて、数ある住宅ローン商品から顧客に最適なものを提案するサービスは稀有の存在
- 顧客から手数料を徴収せず、顧客・金融機関・不動産業者の三者全てのローン関連業務の非効率性を解消する“三方良し”を実現する点で革新的なビジネスモデル



TORANOTEC株式会社

# TORANOTEC

投資決定公表日	2021年3月31日
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>少額から投資が行える資産運用サービス「トラノコ」の開発・提供</li></ul>
共同投資家	<ul style="list-style-type: none"><li>非公表</li></ul>

## 産業競争力の強化又は社会課題の解決

- より多くの生活者が資産形成を行う環境を整備し、我が国の長年の課題である“貯蓄から投資へ”を促進
- ひいてはより多くの生涯に渡った豊かな生活の実現を支援
- 実際に、これまで投資に馴染みが薄かった多くの層が「トラノコ」の投資信託を通じた資産形成を開始

## 成長性

- 日々の買い物データから算出されるおつりによる投資や様々なポイントを投資に回せる機能等、従来の投資信託への投資とは一線を画す資産運用サービスを提供することで、生活に密着した投資信託への投資を促進

## 革新性

- 少額から投資が行える資産運用アプリ「トラノコ」を開発・提供することで、投資信託への最低投資金額を大きく引き下げ、人々の生活により密着したサービス提供を通して新たな投資層を開拓
- 「トラノコ」を通じた資産運用サービスの更なる拡充と普及拡大を行い、事業の更なるスケールアップを図ることで、日本独自のFintechの創造と社会実装を支援



## 5. JIC PEによる投資活動の状況

# (1) JIC PE概要①

投資決定公表日	2020年9月9日
ファンド	• JIC PEファンド1 号投資事業有限責任組合 (PEF1)
無限責任組合員 (GP)	• JICキャピタル株式会社 (JICキャピタル)
有限責任組合員 (LP)	• 株式会社産業革新投資機構 (JIC) • PEF1 役職員投資事業有限責任組合 (PEF1 役職員組合)
主な投資対象・投資戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>• Society 5.0の実現に向けた新規事業・新産業の創造や国内産業の国際競争力強化、業界の再編など、社会的にインパクトのある投資を目指す</li><li>• 投資基準に基づき「社会的インパクト」「必要性・価値提供」「成長性・収益性」の観点から投資を検討</li><li>• 投資テーマ・投資対象<ul style="list-style-type: none"><li>①バイアウト投資 国内外企業の再編・統合を通じて、産業構造の改革及び国際競争力強化を目指す</li><li>②グロース投資 国内外の高成長企業への出資により、日本発グローバルリーダーの創出及び国際競争力強化を目指す</li><li>③次世代社会基盤投資 リスクマネーが不足する通信や再生エネルギー等の新たな社会基盤の構築等を企図した投資を行う</li></ul></li></ul>
JIC投資額 (コミットメント額)	2,00億円 (別途JICとの共同投資ファンド2,000億円)
期間	<ul style="list-style-type: none"><li>• 運営期間：10年</li><li>• 投資期間：5年 (LP同意の場合には短縮可)</li><li>• 運営期間延長：1年×2回まで (LP同意の場合)</li></ul>

## 政策目標

- (1) 投資によって達成を目指す政策目標
  - ① Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進
  - ② 既存企業による産業や組織の枠を超えた事業再編の促進
- (2) エコシステムに対する貢献
  - 中立性を活かした事業再編の媒介役を担うことで、当該領域におけるリスクマネー活用の活性化を促す
  - 国内外の有望な技術やビジネスモデルに対する投資を先導することで、当該領域に対する民間資金（企業、ファンド及び金融機関）の呼び水となる
  - 民間リスクマネーの供給が薄い領域への投資を通じ、当該領域に強い投資プロフェッショナル人材層を育成する

## 収益目標

- PEF1の収益目標は、ネットMoC1.5程度を目指す
- PEF1は、投資分野（バイアウト、グロース等）、投資期間など投資案件ごとに適するリターン/リスクを設定し、最低限としてPEF1のトータルとしての元本棄損を回避するようにしながらも、リターンの最大化を目指す

## ガバナンス

- 投資委員会：JICが毎回オブザーバー参加し、ファンドの投資基準との整合性を確認
- 投資ガイドライン：投資対象案件1件に対する累積投資金額が、400億円超となる投資等は、LPの承認が必要
- レポーティング：四半期毎に財務諸表、投資先企業概況等をJICに報告。
- 報酬設計：JICキャピタル役職員の報酬は、基本給（年俸）及び年度賞与で構成されており、当該合算額が、株式会社産業革新投資機構の業務執行取締役の報酬総額（年額報酬及び特別手当の合算額）の上限を超えない範囲で設計されている。  
※その他、ファンドの収益に連動した長期業績連動報酬制度を設けており、ファンド全体で投資元本（運営コストを含む）を上回る回収益が発生した場合に限り、回収益の2%の範囲内で、JICキャピタルの役職員が自己投資をした場合に限り、其々の自己投資額に応じた報酬を支給することとしている。

(2020年度の実績及び監査役の報酬等の額)

区分	支給人数	報酬等の額	摘要
取締役	3人*	55,640千円*	
監査役	1人	4,083千円	
計	4人	59,724千円	

\*JIC取締役と兼職する取締役2名については、JICからの2020年度の報酬等の額を計上

## 管理報酬

- JICキャピタルの各年度の予算に基づき、LPの承認（出資額による過半数）により決定

# (2) 投資の状況 (PEF1運用報告)

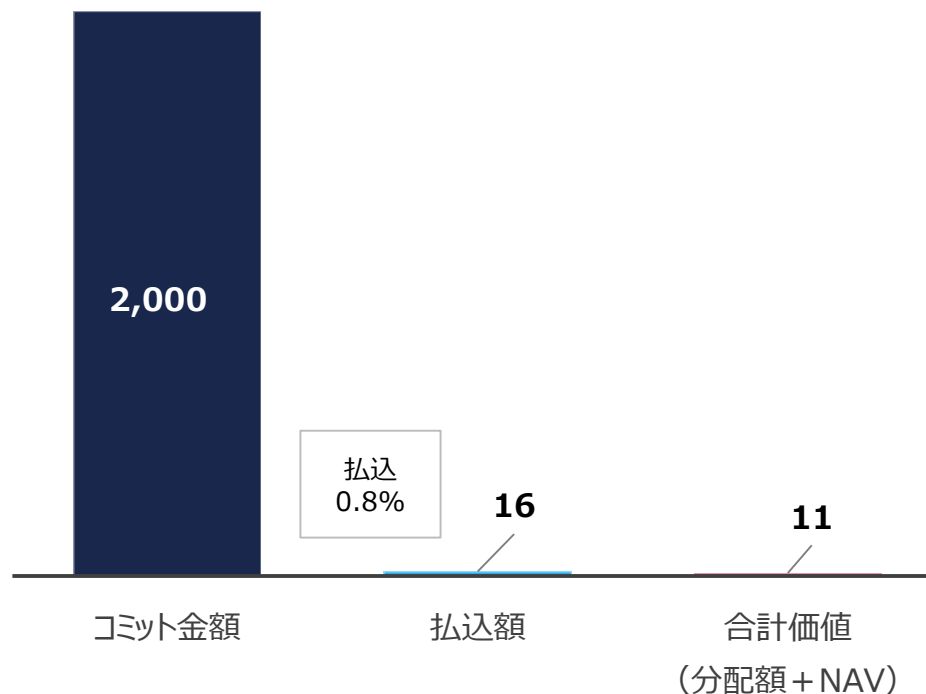


## 1. ファンドの状況

コミット日	2020/11/16	コミット金額	2,000億円					
(単位: 億円)								
基準日	未使用コミット金額	払込額	分配額	NAV	累計損益	IRR	TVPI	
2021/3/31	1,984.0	16.0	0.0	6.2	▲ 9.8	NM*	0.39	

\* 始まって間もないファンドであり時期尚早

### 払込・分配・NAV等の状況 (2021年3月末時点) (億円)





**JAPAN INVESTMENT CORPORATION**